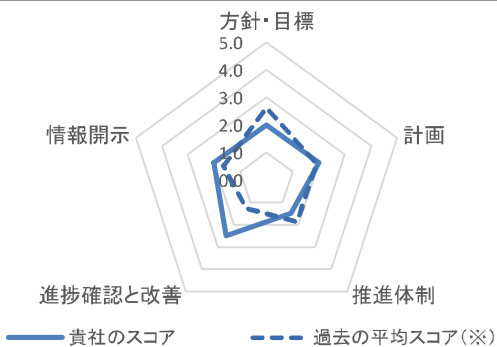


第2章 評価サマリー

調査票やヒアリング結果をもとに、貴社のSDGsへの取り組み姿勢や、アセットが創出するインパクト、貴社の事業活動がどのようにSDGsの目標達成に貢献し得るのかについて、以下のとおり判断致しました。

2024年5月15日
株式会社 日本総合研究所

企業名	永柳工業株式会社		
資金使途のアセットのインパクト評価	本リース契約の対象設備は、 年間 5,624 (kg-CO2/y) のCO2削減効果を創出する と判断致します。		
組織のSDGsへの取り組み姿勢に対する総合所見	貴社は企業経営において、 良好なSDGsへの取り組み姿勢を有している と判断致します。		
	 —— 貴社のスコア - - - 過去の平均スコア(※) (※)SBCのSDGs推進支援融資の取り組み企業の平均スコア		
事業活動を通じたSDGsへの貢献に対する総合所見	貴社は以下に記す事業を通じて、 SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できる と判断致します。		
	【事業名】リサイクルコルクによるノベルティブランドの立ち上げ、地域の障がい者就労支援施設における雇用創出 【事業内容】貴社では、ホテルや飲食店で使用されたコルクを回収・リサイクルし新たなコルク雑貨品として生まれ変わらせることで、資源を循環させる仕組みをつくっておられます。また、その作業プロセスの一部を地域の障がい者就労支援施設に依頼しておられます。 【SDGsへの貢献内容】貴社の事業を通じてコルクの廃棄が減り、リサイクルで生まれたコルク雑貨品を手取る人の環境意識向上にもつながることが考えられます。また、地域の障がい者支援施設に適正価格で業務を依頼することにより、労働者の働きがいや生きがいの向上に貢献しています。さらに、パートナー事業者との協働により地域経済の安定化・活性化にも寄与することが期待できます。		
	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。		
	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。		